

第三章

結論

この諸論文の背景と問題提起の結果に基づいて、結論することができるのは：

1. 日本人は切腹を実行するのは中世時代から明治維新時代まで行われた。古代時代に切腹は神様に捧げるため、鹿の腹に実行した。中世時代に切腹は人間の腹をきることが始めた。その時代の切腹は切腹もとのパターン、原形と呼ばれていた。内戦時代に切腹は雇用者に忠誠を表示するために実行した。徳川時代に切腹は公式の罰に使用された。切腹の儀式は完全になった、定形と呼ばれていた。明治維新時代に西洋の影響は日本に入国し始める、そして切腹は公式の罰から削除された。その時代に切腹の事件はまだあるが講師の儀式で実行させなかった。
2. 前書の切腹を実行する人の話に基づいて日本人が切腹を実行するの理由は自尊心を維持して、戦争で敗北や恥の過ちを償って、雇用者に、天皇に、そして国家にも献身の形と結論付けることができる。

勇気や忠誠や恥の値が切腹を実行するの根底は、そのあと日本人の特徴になった。そのことはインドネシアに適合されたら、インドネシアの社会の悪い態度は例えば、汚職は回避することができる。

このように切腹の習慣に著者の結論である。日本人にとって、立派な死ぬの方法という自殺の儀式である。

参考文献

Danandjaja, James. 1997. *Foklor Jepang : Dilihat Dari Kacamata Indonesia*. Jakarta : PT Pustaka Utama Grafiti.

Inazo Nitobe. 2001. *Bushido : The Soul of Japan*. Boston : Tuttle Publishing.

Mitford, A.B. 1978. *Tales of Old Japan*. Tokyo : Charles E. Tuttle Co.

Ranjabar, Agatha P. 2008. *Harakiri*. Yogyakarta : Pinus Book Publisher.

Seward, Jack. 1968. *Hara-Kiri : Japanese Ritual Suicide*. Tokyo : The Charles E Tuttle Company.

Japan Encyclopedia. 1993. Tokyo : Kondansha Int. Ltd.

Emila, Ligia. 1984. “*Seppuku (berkisar sekitar seppuku yang dilakukan kaum Samurai jaman Edo)*”. Tesis ini tidak dipublikasikan. Jakarta : Jurusan Sastra Jepang, Fakultas Sastra, Universitas Indonesia.

Atmanegara B, Yasser. 2008. “*Telaah Regiositas Dalam Upacara Bunuh Diri ala Jepang*”. Tesis ini tidak dipublikasikan. Jakarta : Program Studi Perbandingan Agama, Fakultas Ushuluddin dan Filsafat, Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah.

追加



戦場に切腹の実行



切腹の儀式